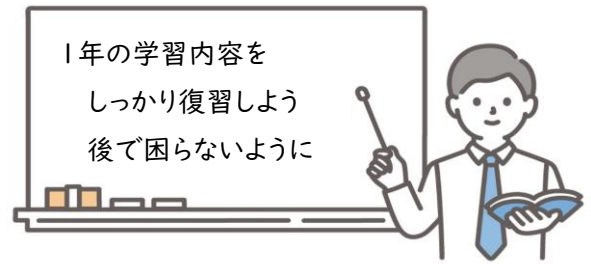


STORY

February 26

No.97



公立高校 後期（一般）入試 志願状況 過去3年分

高校名	学科	定員	前期	志願者	R8	R7	R6
山形東	探究	80	4	169	2.22	2.79	2.30
	普通	160	8	69	1.10	1.27	1.06
山形南	理数	40	5	59	1.69	1.60	2.03
	普通	200	36	176	1.22	1.00	1.26
山形西	普通	200	18	182	1.00	1.11	0.86
山形北	普通	160	28	123	0.93	0.97	1.04
	音楽	40	11	2	0.07	0.06	0.03
山形中央	普通	160	32	101	0.79	1.40	1.15
	スポーツ	80	68	18	1.50	2.50	1.00
山形工業	機械技術	40	20	30	1.50	0.75	0.61
	電気電子	40	20	24	1.20	0.79	0.64
	情報技術	40	20	31	1.55	1.29	1.61
	建築	40	20	24	1.20	1.68	1.04
	土木・化学	40	20	9	0.45	1.32	0.68
山形商業	総合ビジネス	160	48	162	1.46	1.45	1.79
	経済	80	6	105	0.87	1.54	1.18
	情報	40	12	38	0.88	1.12	0.85
天童	総合	120	42	53	0.68	0.79	1.00
東桜学館	普通	200	117	61	0.73	0.97	0.77
村山産業	農業経営	40	20	8	0.40	0.32	0.50
	みどり活用	40	20	12	0.60	0.28	0.33
	機械	40	11	7	0.24	0.29	0.20
	電子情報	40	10	6	0.20	0.35	0.27
	流通ビジネス	40	17	0	0.00	0.53	0.35
北村山	総合	120	9	16	0.14	0.11	0.11
霞城学園	I部（午前）	40	8	37	1.16	0.88	1.23
	II部（午後）	40	6	24	0.71	1.33	0.95
	III部（夜）	40	0	11	0.28	0.18	0.28

・入試制度が大きく変わって初めての後期試験ですが、全体的に志願倍率は低めでした。多くの学校で定員割れが生じています。昨年、1.4倍だった山形中央高校普通科が定員割れ(0.79倍)だったのは驚きでした。

・前期の欄は、前期入試で合格内定している人数です。例えば、山形東の探究科は入学定員80名に対して、前期で4名が合格しています。そのため後期入試の定員は76名になります。そこに169名の志願者が受験するので、2倍以上の倍率になります。

・山形工業や村山産業高校は前期入試の定員が50%を占めています。

・定員が少ない高校や学科は、年によって倍率が大きく変わります。

・山形東と山形南の普通科の倍率は探究科と理数科の第2希望を考慮して調整しています。